

— 対馬市 —

平成22年3月発行

No.22

社協だより



社会福祉法人

対馬市社会福祉協議会

〒817-1201 長崎県対馬市豊玉町仁位94-5
TEL 0920-58-1432 FAX 0920-58-1183
E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tsushima-shakyo.jp/>
(対馬市社会福祉協議会で検索してください。)

福祉出前講座

豊玉小学校総合学習
〈平成22年2月9日開催〉



高齢者擬似体験



車いす体験

福祉出前講座の受講を
希望される場合は、お気軽に
対馬市社協の本所・各支所へ
ご一報ください。

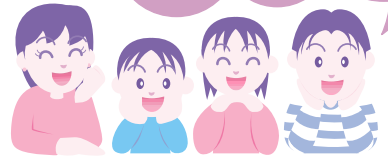


今回の主な内容

- 福祉作品展……………2
- 各種募金実績報告……………4
- トピックス……………5
- ボランティア活動紹介……………6
- 御寄付御礼……………7

この広報誌は、皆様から寄せられた会費並びに共同募金配分金で作られています。

福祉作品展を 開催しました



対馬市社会福祉協議会では、福祉に対する理解と温かいすけあいの心の輪を広げるため、福祉作品展を開催いたしました。

作品展には、市内の小・中学校及び高等学校の児童生徒より、「家族」をテーマに、述べ300点以上もの作品を応募いただきました。応募いただきました全ての作品は、厳正に審査が行われ、入選作品が次の通り決定いたしました。

これらの作品は、1月18日～1月29日までの期間中、上対馬・豊玉・厳原地区でそれぞれ展示されました。

また応募いただいた作品以外にも、市内の福祉施設の利用者が作成された作品が展示され作品展に花を添えました。

ポスターの部



ポスターの部
最優秀賞

久田小学校4年
惣島愛実さん



ポスターの部
優秀賞

厳原小学校5年
上野すだちさん



ポスターの部
佳作

加志々中学校1年
赤木俊介さん

絵画の部



絵画の部
最優秀賞

加志々中学校2年
大浦千沙都さん



絵画の部
優秀賞

厳原小学校2年
上野望夢さん



絵画の部
佳作

加志々中学校1年
阿比留亜須華さん

標語の部

〈小学校低学年の部〉



最優秀賞

たすけあい

みんなの心 ほつかほか

厳原小学校3年 吉岡千穂さん

優秀賞

おばあちゃん

はなれていても 家族だよ

比田勝小学校3年 満井康允さん

みんなげんき

おかあさんのりょうりは きんめだる

金田小学校1年 西山陽菜さん

佳作

おばあちゃん

おもいにもつは ぼくもつよ

南陽小学校1年 原田 響さん

家族には

えがおさかせる ちからある

豊玉小学校3年 佐伯柚鳳さん

絵画の部
佳作

加志々中学校2年
中庭美奈子さん





「私の家族」

佐須奈中学校2年 花村 衣咲さん

私は、母とよく福祉や介護について話し合います。母は手話を習っていたおかげで、沢山の障害者の方と交流が深まったそうです。母は、いつも障害者も健常者も同じ目線で付き合えないといけないと言います。みんな同じ人間なのだから。辛い時は、逆に勇気づけられる事もあり、沢山の元気をもらったそうです。そんなある日、私も今年の夏、心温まる出来事がありました。私は今年の三月父の転勤で対馬に住む事になりました。海が大好きな私は、夏休みに佐世保に帰省したので、オープンした「海きらら水族館」に行ってみました。いつも車で行く事が多いのですが「たまにはバスに乗って社会勉強してみよう」と母が言ったので思いきってバスに乗る事にしました。無事目的地に着くのかとやや緊張していましたが、その緊張をやらわけてくれた、あるご夫婦に出会いました。始発から乗った私と友人は、途中から、女性によりそった、白い杖を持った男性に目が止まりました。ご夫婦は私達の前列に座られたので、今日の天気の話や、走行中の風景などを説明されている会話が聞こえました。私はそんな会話を耳にしながら、何か胸にジーンと込み上げるものがありました。偶然にも、お互い降りた場所は水族館でした。気がつけば、私達はチケット売り場、クラゲの展示場、イルカショー、お土産売り場まで一緒に、まさか帰りのバスまで一緒だとは思わなかったのだと驚きました。水族館では、奥さんが一つ一つ説明されていて二人楽しく笑っておられました。帰宅して両親に一日の出来事を話したら「相手を思いやるという、いい勉強させてもらったね。」と喜んでいました。私は、ご夫婦に出逢えて本当に良かったし、家族の絆の大切さを教えていただいたように思いました。



「おばあちゃんの手紙」

加志々中学校2年 中庭 美奈子さん

私は昔から、おばあちゃんに愛されて育ってきました。おばあちゃんは、少しでも暇があれば、昔の事を話したり、私の学校での体験をきいてくれます。一緒に畑に行つて芋ほりをしたことなど、とても楽しくてずっと覚えてます。運動会に来てくれたときには、身をのりだして、声がかかるまで応援してくれました。でも、そんな元気なおばあちゃんが、足が痛いと言つて入院したことがありました。畑仕事などを無理をして頑張つていたのが原因だと思えます。私がお母さんと一緒に会いに行つたときは、「よく来てくれたね。ありがとう。」と、笑顔で言ってくれました。でも、やっぱり足は痛そうで、とても心配になりました。おばあちゃんは、自分が足が痛くても、「学校は頑張りよる。」と、ずっと私の心配をしてくれます。私はおばあちゃんの言葉で、とっても温かい気持ちになります。そんな優しいおばあちゃんが大好きです。私はこれから、家を離れ島外の高校に行こうと思つてます。おばあちゃんの優しさや応援に応えられるように頑張りたいです。そして、就職したらおばあちゃんが生かすような家にリフォームして、今まで優しくしてくれた恩返しをしたいです。これからも、できるだけおばあちゃんの手伝いをして少しでも体の負担を少なくしていきたいと思えます。だからおばあちゃんは長生きして、楽しくすごしてほしいです。そして、また一緒にいろいろな思い出を作っていきたいです。

〈小学校高学年の部〉

最優秀賞

ほつとする

かぞくのいる場所

かえる場所 上野すだちさん

佳作

おじいちゃん

ぼくがかたもみ につこにこ

南陽小学校4年 庄司晋太さん

たいせつに

そだててくれて ありがとう

南陽小学校4年 平間晃樹さん

〈中学校の部〉

最優秀賞

しかられた

でも安らぐなあ ぼくの家

豊玉中学校2年 東岡健太さん

優秀賞

つらいとき

一番近くに 家族あり

豊玉中学校2年 國分大樹さん

ありがとう

その一言で なごむ家

豊玉中学校3年 八坂悠介さん

〈高校の部〉

佳作

幸せと よべるひととき

家族の時間

対馬高校2年 中野美樹さん



平成21年度 各種募金実績報告



皆様のご支援・ご協力ありがとうございました

今年度、皆様からお寄せいただいた募金の実績は、下記のとおりとなっています。
各募金の使い道については、国内外における災害救護や献血体制の整備、また、ボランティア事業や地域の福祉活動の推進のために役立てられています。
今後とも、各種募金運動に対する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

日本赤十字社長崎県支部対馬市地区長・長崎県共同募金会对馬市支会長

■平成21年度 日本赤十字社資募集実績(対馬市全体)

目標額	実績額	達成率
4,404,000円	3,705,025円	84.1%

■平成21年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績(対馬市全体)

募金種別	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	4,813,042円	1,603,915円
法人募金	168,000円	0円
学校募金	64,741円	59,000円
職域募金	328,541円	0円
個人募金	7,170円	0円
その他	250,262円	155円
合計	5,631,756円	1,663,070円
目標額	6,068,000円	1,613,000円
達成率	92.8%	103.1%



5月は「赤十字運動月間」 です。

今年も、5月1日～31日にかけて、
全国一斉に赤十字運動が展開されます。

この期間中、対馬市地区では災害救護、
献血事業、看護師養成、国際救護活動など
に役立てるため、各区長様のご協力を
得て社資募集を行う予定です。

つきましては、市民の皆様には赤十字
の事業にご賛同いただき、ご協力いた
だきますようお願いいたします。



日本赤十字社長崎県支部 対馬市地区

長崎県共同募金会より 福祉機器を助成いただきました

このたび対馬市社会福祉協議会では、長崎県共同募金会
より、車いす3台の助成を受けました。

これは、平成21年度の歳末たすけあい運動に対し、皆
様からお寄せいただいた善意の募金によって今回助成をい
ただいたものです。

この3台の車いすは峰支所へ配備され、必要とされる方
々への貸出を行ったり、福祉出前講座での指導用機材とし
て大切に活用させていただきます。





平成21年度

ふくし講演会

平成22年1月24日、対馬市公会堂においてふくし講演会を開催いたしました。

この事業は、平成16年度より毎年開催しており、今回はテレビ「奇跡体験アンビリバーボー」や「ザ・ワイド」でも自身の体験が再現ドラマ化され話題となった濱宮郷詞さんをお招きしてご講演をいただきました。

濱宮さんは、高校3年生の時に、棒高跳びの練習中の事故により重度の障がいを抱え、車いすでの生活を余儀なくされました。多くの苦労や試練に見舞われながら、苦難を乗り越え、現在は三つ子の父親として家族を支え、サラリーマンの傍ら全国各地で講演活動を行っています。事故に遭った時のことや、

想像を絶する治療のこと、また自暴自棄になりそうなた、運命の人と出会い強く生きていくと決めたことをお話になると、会場では感動のあまり涙される方も多数いらっしゃいました。

また当日は、厳原南保育園の園児によるアトラクションや、講演終了後には、福祉作品展の表彰式も行われ盛況のうちに終了いたしました。



講演会に花を添えた、厳原南保育園児によるアトラクション。



濱宮さんの講演に、皆さん感動しました。



濱宮さんからの直筆サイン。当たってよかったですね

高齢者ふれあい料理教室

「これでいいかな?」「調味料の量は合ってる!」



「これでいいかな?」「調味料の量は合ってる!」

去る平成21年12月15日、上対馬総合センターにおいて、「高齢者ふれあい料理教室」を開催いたしました。

高齢者の一人暮らしの多くは、「自分ひとりだけ」ということで、偏った食事になる傾向にあり、その結果、食生活のバランスを崩しのちに重大な病気になることも少なくないことから、日頃よりバラ



作った料理は、皆さんで美味しくいただきました。

当日は、ヘルスメイト（食生活改善委員）の方々に全面的にご協力頂き、美味しく健康に良い料理ということで、大根としめじの骨太カレー、カブ柚子和え、枝豆とひじきのカクテルサラダ作りに挑戦しました。

終始、和やかな雰囲気の中、参加された方々は、調理に奮闘されていました。

平成21年度 母子相談協助力 研修会

平成22年2月17日、美津島町ふれあいプラザにおいて、対馬市母子寡婦福祉連合会主催による、平成21年度母子相



談協助力研修会が行われました。この研修会は、会員の相互の連携や母子・寡婦の福祉向上を図ることを目的として当日は約70名の会員が参加しました。



母子会のこれからについて、活発に意見が交わされました。

ボランティアのページ

ボランティア
活動紹介シルバーボランティア
しあわせ会

代表 川崎 隆

シルバーボランティア「しあわせ会」は、平成5年に結成し、現在会員は上県町佐須奈地区の元気な高齢者16名で活動しています。主な活動としては、地域の一人暮らし高齢者などを対象にした誕生祝品の贈呈、七夕祭り、クリスマス会、年賀状の送付などを行っています。

その他の活動としましては、学校の生徒へ、昔の子供時代の遊び、生活状況等の伝承活動も実施していますが、会員自身が高齢で逆に対象者となった方もあり、会員の確保や少ない資金での活動実施など危惧する問題もありますが、例え資金がなくなっても友愛訪問により、お互いに慰めあい、助け合い、経費のかからないレクリエーション等で楽しみシルバーボランティア「しあわせ会」の活動は続けていきたいと思っています。



「サンタさん、袋の中身はな～に？」



子ども達とも楽しく交流を行っています。

 つしま大正琴愛好会

代表 中山 キミ子

私達「つしま大正琴愛好会」は、音楽を通じてお互いの生きがいと融和の高揚を図る為、平成6年より講座から練習を始め、どうにか人前で演奏ができるようになりましたので、5年ほど前からボランティアとして美津島管内の福祉施設への訪問演奏や合唱を行っています。

はじめは、施設の利用者の方々も硬い表情ですが、演奏が進むにつれて表情が豊かになり、童謡など合唱するようになると、笑顔になって、終わって帰る頃には、皆さん、又来てくださいと握手をして玄関まで見送ってくれるようになりました。

こんなに喜んでいただけるならということで、現在は活動範囲を美津島管内だけでなく、対馬市内に広げ演奏や合唱を行っています。音楽には国境はないと言いますので、ゆくゆくは日韓交流の為、お隣の韓国の施設も訪問できたらと計画をしています。

いろんな施設や催しなど、必要であればどこへでも出向き演奏したいと思います。
(但し、送迎をお願いいたします。)

連絡先：54-2653 (中山)



ご要望があれば、どこへでも伺います！



施設での訪問演奏



御寄付御礼

社会福祉の推進のために、多くの方々から心温まる善意のご寄付をいただきました。ここに、ご芳名（敬称略）を掲載し、謹んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

お寄せいただきましたました寄付金等は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために、活用させていただきます。

誠にありがとうございます。

（平成21年11月1日～平成22年1月31日受付分）

上対馬地区

▼宮原 貢（鰹浦）
（亡・宮原 春）

▼板井 正富（豊）
（亡・板井 清美）

▼宮原 彦幸（鰹浦）
（亡・宮原 玉）

▼峰 博文（琴）
（亡・峰 敬一郎）

上県地区

▼嶋 居 幸茂（佐護）
（亡・嶋 居 圭太郎）

▼西山 岩夫（檉滝）
（亡・西山 寿子）

峰地区

▼多田 光義（津柳）
（亡・多田 清子）

豊玉地区

▼須川 長世（塩浜）
（亡・斉藤 清子）

▼大庭 順子（仁位）
（亡・大庭 拘）

▼山田 盛子（佐保）
（亡・山田 豊）

▼河野 繁和（仁位）
（亡・河野 玉枝）

▼梅野 元明（曾）
（亡・梅野 大志）

▼神田 シゲ子（和板）
（亡・神田 武）

美津島地区

▼日下部 環（尾崎）
（亡・日下部 勝）

▼藤田 恭子（賀谷）
（亡・藤田 八重子）

▼園部 一雄（賀谷）
（亡・園部 松子）

巖原地区

▼小島 和夫（宮谷）
（亡・小島 ハルエ）

▼吉田 敦子（西里）
（亡・吉田 三三人）

▼鬼橋 理恵（田淵）
（亡・鬼橋 テツコ）

▼糸瀬 博文（西里）
（亡・糸瀬 キミエ）

一般寄付

▼天台宗対馬部（上対馬町豊）
天台宗全国一斉鉢募金の

一部として

▼尾藤イサオ・マイク濱

11月22日ジョイントコンサ

ート収益金の一部として

あなたの善意のお気持ちを お待ちしております。

本会の地域福祉事業は、多くの方々からお寄せいただいた大切な寄付によって支えられています。

今後とも、対馬市の地域福祉の充実のため、皆様のご理解やご支援をお願いいたします。

尚、寄付の受付は、対馬市社協本所・各支所でおこなっています。

あなたの寄付が
地域の福祉に
役立てられます





お知らせ



● 無料法律相談(平成22年3月実施分) ●

月 日	会 場	担当弁護士事務所
3月17日(水)	対馬市総合福祉保健センター(美津島)	法テラス対馬
3月24日(水)	豊玉町福祉センター	法テラス対馬

*開催時間は、午後1時～午後4時まで。

*相談を希望される方は、必ず事前(前日の午後4時まで)に予約をお願いいたします。

予約・お問い合わせは、対馬市社会福祉協議会 本所並びに各支所へ



4月以降の相談日程については、市報や社協だより等で後日お知らせいたします

あいさつ+1 (プラスワン)コーナー



このコーナーでは、昨年11月に豊玉・峰管内で実施いたしましたあいさつ+1(プラスワン)運動にご協力いただいた方々からのアンケートをご紹介します。

- 大人の意識が推進月間だけで終わらないで欲しい。
- 職場全体でも、地域社会に貢献できる体制づくりが強く求められている現状でありますので、この運動には積極的に参加していきたいと思えます。
- まだ成果は見えにくいですが、本運動を長期的に続けていくことで、真の「ふれあいのある地域」になると思えます。



「ストライク!!」

先日、家族でバラエティー番組を見ていた時のこと。チーム対抗でボーリングを行い負けたチームは罰ゲームと言った番組内容だった。

1フレームを2名で投げ競い、10フレームの中にはプロボーラーの助っ人があり、着ぐるみを着て投げるフレームもあり、家族で見ても楽しめる。子どもにも分かりやすく構成されていた。

番組も佳境に迫ったところ、ふと娘が「ボーリングって何?」。団らんの空気が凍るように寒くなった。そういえば、7歳になる娘にとってボーリングは未知のスポーツ。テレビで見るとも初めてだったらしい。

普段は2つ上の兄と野球したり、ボール遊びしたり野球、サッカーは分かってもボーリングは初めてだったようです。

そこで、行って来ました。日曜日に家族でボーリング場に行って来ました。家族4人でチーム戦、男子チームと女子チームで勝負しました。もちろん、ガタイ無し、溝にボールが落ちないように壁みたいな物をしてもらいました。何にでも器用な息子は覚えが早く第1ゲームは男子チームの圧勝でした。そこで休憩。ジュースを飲んで、フライドポテトを食べながら第2ゲームへ突入。覚えが早い息子ですが飽きるのも早かった。第2ゲームに入るとボーリングよりも隣りのゲームコーナーが気になるようで、「早く投げて終わらせよう」とオーラが息子から出てました。

結果はこつこつタイプの娘を要する女子チームの逆転勝利に終わりました。

月に1度は家族でボーリングも良いですね。ただ、ストライクを出せなかった娘に笑顔はありませんでした。勝負に負けてもストライクを出して息子は勝者の笑みでした。同じボーリングでも息子、娘の色々な表情が見れ親としては充実してました。

ただ、「お母さんスベアばかり」と娘から言われた女房の顔は鬼のようでした。あー、右手が痛い。



質問・疑問等がございましたらどんなことでも結構ですので、下記宛にご連絡ください。また、社協だよりに掲載したい出来事なども募集お待ちしております〜(^^) /

お問い合わせはこちらへ 対馬市社会福祉協議会 総務・企画班

TEL 0920-58-1432 FAX 0920-58-1183

E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp



読者の皆さんの声をお聞かせ下さい

この広報誌は、皆様から寄せられた会費並びに共同募金配分金で作られています。

この用紙は地球環境保護のため再生紙を利用しています。